

平成22年(2010年)1・2月臨時会/2月定例会

- ◆2面~4面…代表質問
- ◆5面~7面…個人質問
- ◆8面………議決議案・臨時会の概要等

なは

市議会だより

平成22年(2010年)4月26日発行
那覇市議会那覇市上之屋1丁目2番1号
電話(098)862-8194
FAX(098)862-8296
<http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>

市民・県民が待望久しかった「沖縄セルラースタジアム那覇(那覇市営奥武山野球場)」の落成式典(平成22年4月3日)

2月 定例会

中核市に関する調査 特別委員会を設置

前期高齢者財政調整制度
等の見直しを求める意見書
等、五件の意見書を可決

二月定例会は、二月十六日から三月十六日までの二十九日間開催され、平成二十二年度一般会計予算案(一千二百三十九億六千二百万円)など三十九件の議案が可決・同意され、陳情九件が採択されました。

会議の概要

最終本会議

**一般会計補正予算案等
九件の補正予算案を可決**

三月二日は、冒頭で那覇市副市長の選任議案を含む四件の人事案件が全会一致で可決され、議案質疑終了後には、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、委員四名及び補充員四名が当選しました。

三月八日は、冒頭で議員提案により、「前期高齢者財政調整制度等の見直しを求める意見書」案が提出され、全会一致で可決されました。

続いて、地域活性化・きめ細かな臨時交付金の新設等を含む平成二十一年度一般会計補正予算(第六号)案等九件の補正予算案が、全会一致で可決されました。

三月二日は、冒頭で那覇市副市長の選任議案を含む四件の人事案件が全会一致で可決され、議案質疑終了後には、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、委員四名及び補充員四名が当選しました。

二十六日には、人事案件四件が追加提出されました。三月二十六日には、人事案件四件が追加提出されました。

二月十六日の定例会初日は、翁長雄志市長の施政方針演説があり、「中核市への移行の決意を表明しました。また、協働のまちづくりを推進するため、これからも「健康」「こども・教育」「高齢者」「環境」「観光」の五つのKを重点的に推進していくと述べました。

続いて、同じく議員提案により、「中核市移行に関する調査特別委員会の設置決議」案が提出され、全会一致で可決され、十三人の委員が選任されました。

次に、議案の採決に先立ち、平成二十二年度市街地再開発事業特別会計予算案に対し、前田千尋議員(日本共産党)から「民間の行う事業は民間に任せらるべ

き」との反対討論があり、瀬長清議員(自民・無所属連合)から「中心市街地の活性化に寄与する事業である」との賛成討論があり、また、比嘉瑞己議員(日本共産党)から「元の老人医療保険制度に戻し、必要な財政負担は国が補てんすべき」との反対討論が、大浜美早江議員(公明党)から「課題はあるが、崩壊寸前だった医療保険制度を見直し、持続可能な高齢者医療への第一歩を踏み出せた」との賛成討論がありました。

その他の議案については、平成二十二年度一般会計計補正予算(第六号)案中、都市計画課分について、委員からモノレール利用客の満足度に関する質疑があり、当局から「現在、二両一編成の十二編成による運行であるが、車両を購入し、新年度の途中から十三編成の運行とし、ピーク時の運行間隔を縮めることで、混雑時ににおける満足度の解決を図りたい」との答弁がありました。

その他の議案については、平成二十二年度一般会計計補正予算(第六号)案中、都市計画課分について、委員からモノレール利用客の満足度に関する質疑があり、当局から「現在、二両一編成の十二編成による運行であるが、車両を購入し、新年度の途中から十三編成の運行とし、ピーク時の運行間隔を縮めることで、混雑時ににおける満足度の解決を図りたい」との答弁がありました。

その他の議案については、平成二十二年度一般会計計補正予算(第六号)案中、都市計画課分について、委員からモノレール利用客の満足度に関する質疑があり、当局から「現在、二両一編成の十二編成による運行であるが、車両を購入し、新年度の途中から十三編成の運行とし、ピーク時の運行間隔を縮めることで、混雑時ににおける満足度の解決を図りたい」との答弁がありました。

常任委員会の 主な審査概要

総務常任委員会

平成二十二年度一般会計予算の採決に先立ち、委員から「国保会計への繰出金の減額と、自衛隊募集業務関連経費の計上

は容認できない。また、三十億円の積立があることを購入し、新年度の途中から十三編成の運行とし、ピーク時の運行間隔を縮めることで、混雑時ににおける満足度の解決を図りたい」との答弁がありました。

その他の議案については、平成二十二年度一般会計計補正予算(第六号)案中、都市計画課分について、委員からモノレール利用客の満足度に関する質疑があり、当局から「現在、二両一編成の十二編成による運行であるが、車両を購入し、新年度の途中から十三編成の運行とし、ピーク時の運行間隔を縮めることで、混雑時ににおける満足度の解決を図りたい」との答弁がありました。

組み替え動議を否決

採決の結果、二件とも賛成多数で可決されました。

採決の結果、二件とも賛成多数で可決されました。

代表・個人質問

各会派の代表質問及び個人質問は二・七面に要約内容を掲載しました。

建設常任委員会

那覇市国民健康保険事業について、委員から国保税の収納率向上対策についての質疑があり、当

局から「現年度分の九〇%以上の国保税徴収を優先する」との答弁がありました。

教育福祉常任委員会

那覇市国民健康保険事

業について、委員から国

保税の収納率向上対策につ

いての質疑があり、当

局から「罰則規定上、日付は明記する必要がある」との答弁がありました。

□関係部長 東京都教育委員会が平成二十二年度から始めるアパートは、介護事業所でないため、県へ事業所届出がされていなかつた。有料老人ホーム等は、本設への補助について伺う。

■宮國恵徳(そうぞう)
□関係部長 東京都教育委員会が平成二十二年度から始めるアパートは、介護事業所でないため、県へ事業所届出がされていなかつた。有料老人ホーム等は、本設への補助について伺う。

一、高齢者共同住宅の実態把握について伺う。
二、病児・病後児保育施設への補助について伺う。

■仲松 寛(自民・無所属連合)
□関係部長 一、今回火災が発生したアパートは、介護事業所でないため、県へ事業所届出がされていなかつた。有料老人ホーム等は、本設への補助について伺う。

高齢者共同住宅について

市に指定権限や届出義務等がなく、すべての事業所の把握はできていない。

市議論がされ、全国都道府県議会議長会では、「地方側の意見を聞くよう求められた。本市の現状と見解を伺う。



※紙面の都合上、発言内容は要約しております。

■下地敏男(社社連合)
□関係部長 一、国会において超党派議論が進んでいる。(仮称)協同労働の協同組合をを目指しており、議員提案の「ダブル学級担任制」は、そのシステム及び効果等を見守りたい。

■山川泰博(民主党)
□市長・関係部長 一、予算編成のスケジュールを踏まえ、実施にはメリット、デメリットを調査・研究する必要があると考える。

二、鳥取県では行財政改革として、予算編成過程の公開があるが、本市としての見解を伺う。

三、宇栄原南土地区画整理事地区的市域変更問題は行政の住民無視の結果だと感じる。見解を伺う。

市議論がされ、全国都道府県議会議長会では、「地方側の意見を聞くよう求められた。本市の現状と見解を伺う。

現政権は、永住外国人に参政権を付与する法改正を検討している。

全国では、賛成・反対・慎重な意見を望むと議論がされ、全国都道府県議会議長会では、「地方側の意見を聞くよう求められた。本市の現状と見解を伺う。

永住外国人地方参政権問題

■屋良栄作(自民・無所属連合)

□関係部長 本市における外国人の永住者は六百四十人、特別永住者は七十八人である。

外国人参政権の付与は議論されていることは承知している。

国民主権や地方自治に関する重要な事項であることから、国民的議論や理解が必要不可欠であり、国会や世論の動向を注視していきたい。

■唐真弘安(自民・無所属連合)
□関係部長 一、労働者が協同で出資して経営にも携わる「協同労働」という働き方が提出される見通しとなっており、本市としても新たな事業形態となる「協同労働の協同組合」法案の動向を注視していく。

■花城正樹(民主党)
□関係部長 一、太平洋戦争における南洋群島での県出身者の犠牲者数は一万二千四人となつており、本市では南洋群島での県出身者の犠牲者数や南洋群島帰還者会に対する本市の取り組みについて

南洋群島帰還者会について

那覇ハーリーの現開催地の那覇港新港ふ頭は、今後の港湾施設の再編に伴い、貨物移動の代替場所確保が困難となる。そこで、国場川の明治橋からモノレール壺川駅と奥武山をつなぐ歩道橋までの間を会場とするのはいい

■翁長俊英(公明党)
□関係部長 可能性と課題を念頭に現地視察を行った。奥武山側の岸辺は遊歩道が設置され、イベントも開催しやすいメリットがある。

水上部はコース等、ハーリー振興会の専門的な検討が必要であり、今後も協議していきたい。

かがか。また、国場川で練習を兼ねた実証実験をしてみてはどうか。

平成二十一年度には、合的に検討すべきものと考えている。

業に、小・中学校体育館の使用料は、一般の使用料は学校体育施設開放事業に全額充当され用料は公民館管理運営事務に特定財源か伺う。

開放事業に全額充當されるとのことで、だが、建設

■唐真弘安(自民・無所属連合)
□関係部長 市民会館の早期建て替えについて、基金の設置等具体的な調査検討を進めるとのことだが、建設

■前田千尋(日本共産党)
□関係部長 ①太平洋戦争における南洋群島での県出身者の犠牲者数は一万二千四人となつており、本市では南洋群島での県出身者の犠牲者数や南洋群島帰還者会に対する本市の取り組みについて

市民会館の建て替え計画

飼い犬登録について

可能性と課題を念頭に現地視察を行った。奥武山側の岸辺は遊歩道が設置され、イベントも開催しやすいメリットがある。

水上部はコース等、ハーリー振興会の専門的な検討が必要であり、今後も協議していきたい。

かがか。また、国場川で練習を兼ねた実証実験をしてみてはどうか。

平成二十一年度には、合的に検討すべきものと考えている。

業に、小・中学校体育館の使用料は、一般の使用料は学校体育施設開放事業に全額充当され用料は公民館管理運営事務に特定財源か伺う。

開放事業に全額充當されるとのことで、だが、建設

■前田千尋(日本共産党)
□関係部長 ①飼い犬登録数は、平成二十二年二月一日現在で

公園行政について

飼い犬登録数及び登録外犬数について

①本市登録の飼い犬数と闘犬種数及び登録外犬数について

②闘犬の飼い主への安全管理指導について

①本市登録の飼い犬数と闘犬種数及び登録外犬数については、昨年十一月に飼養している各世帯へ、飼育数は、WHOの推定方法算出で約三万頭である。

市民会館建設のための基

金の整備等の財政的な課題に対応していくとともに、基本構想案を策定す

るための諸準備に取りかかる予定である。

六月定例会は

六月定例会本会議の模様は、OCNにて録画放送を行っております。(放送日・時間は、本会議開催当日の午後六時から)

中核市移行に関する調査特別委員会を設置

本市議会では、地域主権社会の新たな役割と責任を果たしうる中核市への移行に向けて調査・研究を行うために、3月16日付けで調査特別委員会を設置しました。(定数13名)

※中核市では、保健所の設置や身体障がい者手帳の交付等が行えるようになります。

委員長	久高 将光	副委員長	糸数 昌洋
宮平 のり子	糸数 昌洋	翁長 俊英	玉城 彰
宮國 恵徳	古堅 茂治	湧川 朝渉	宮里 光雄
渡久地 政作	久高 将光	平良 仁一	仲松 寛

2月定例会の人事案件

■副市長の選任について

平成22年3月31日付けで辞職する與儀弘子副市長の後任として、神谷博之氏が選任同意されました。

■教育委員会委員の任命について

平成22年4月7日付けで任期満了となる桃原致上委員の後任として城間幹子氏が、また、西原篤一委員の後任として城間勝氏が任命同意されました。

なお、城間幹子氏は4月8日付けで教育長に就任しました。

■那覇市選挙管理委員会委員の選任について

那覇市選挙管理委員会委員の任期満了に伴う選挙が、去る3月2日の本会議で行われ、座覇政爲氏、大濱慶子氏、亀島賢優氏、佐和田隆氏の4名が選任されました。

■那覇市固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成22年3月31日付けで任期満了となる委員の後任として、宮里猛氏が選任同意されました。

総務常任委員会（玉城彰委員長）は、三月十七日に日本有数の強固な免震構造を誇る宜野座i-Tセンターを視察しました。その後、サーバーを保管しているラックを実際に見学し監視カメラの設置等について確認しました。



宜野座i-Tセンターを視察

総務常任委員会（玉城彰委員長）は、三月十七日に日本有数の強固な免震構造を誇る宜野座i-Tセンターを視察しました。その後、サーバーを保管しているラックを実際に見学し監視カメラの設置等について確認しました。



那覇空港新貨物ターミナルを視察

厚生経済常任委員会（桑江豊委員長）は三月十六日に那覇空港新貨物ターミナルを視察しました。

アジア五都市と国内三都市の航空貨物を深夜に集積し目的地別に振り分け、翌早朝に各地に届ける「物流の拠点」を確認しました。

『那覇市議会史』を発刊 第4巻「新聞にみる議会」(復帰後)

この度、第4巻「新聞にみる議会」(復帰後)を発刊しました。

本巻は、復帰による日本国憲法の適用やドルから円への通貨切り替え、本土との渡航制限の撤廃など急速に本土化する中で、那覇市議会や行政が果してきた足跡について、県内発行2紙から抽出した貴重な新聞資料を収録しております。

お近くの図書館では是非ご一読下さい。
※那覇市議会のホームページでもご覧いただけます。



議会事務局人事

(四月一日課長級以上)※()は前職

- 局内異動昇任
- ▽庶務課長(議事調査課長)
- 上原和雄
- ▽議事調査課長(議事調査課主幹)
- 渡真利治
- ▽(庶務課長)豊平秀幸
- 定年退職(三月三十日付)

◆1月臨時会(1月13日)

本臨時会において、市民の直接請求により提案された「那覇市無防備平和の街づくり条例」制定について審議しました。

直接請求の代表2人が意見陳述し、無防備宣言により他国から攻撃されない平和な街づくりができる、など条例の制定を求めましたが、議員が自衛隊施設の移動や運用は国の管轄であり1自治体の条例では制限できない、と反対討論するなど、反対多数で否決されました。

◆2月臨時会(2月1日)

本臨時会において、那覇市営奥武山体育施設の指定管理者の指定についての議案が提出されました。執行部から、最終に共同企業体を含む5団体から応募があり、那覇市スポーツ振興審議会の答申、教育委員会議での審議を踏まえ、那覇市体育協会を指定管理者とする案の説明がありました。

それに対し議員から、今回応募した団体名、本市が管理した場合と指定管理者による管理を比較した場合の収支の差額見込み等について質疑がありました。

採決の結果、全会一致で同意されました。

新たな議事堂整備について市長に要望

- ▽那覇市特別職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定（市長等特別職職員の給料及び期末手当の減額措置の継続）
- ▽那覇市飼い犬条例の一部を改正する条例制定（県による飼い犬の引取り有料化を受けて関係条文の改正）
- ▽那覇市火災予防条例の一部を改正する条例制定（新都心天久地区の小学校・幼稚園設置等）
- ▽那覇市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例制定（神原学給食センター・城岳学校給食センターの新設）
- ▽平成二十二年度那覇市一般会計補正予算（第六号）など補正予算九件
- ▽平成二十二年度那覇市一般会計予算など予算十件
- ▽那覇市青年団体連絡会に対する補助金について（採択）
- ▽義務教育国庫負担堅持及び二分の一復元について（みなし採択）
- ▽三十人以下学級完全実現について（みなし採択）
- ▽市道久場川六号の歩道設置について（採択）
- ▽学童保育について（採択）
- ▽「協同出資・協同経営で働く協同組合法（仮称）の速やかな制定を求める意見書」採択について（みなし採択）
- ▽那覇バス寒川線（系統番号十五番線）の増便について（採択）
- ▽地域がより暮らしやすくなるモノレール利用について（採択）
- ▽太平橋付近の整備について（採択）

2月定例会で可決された6件の意見書

※意見書の内容は那覇市議会ホームページで確認できます。

事件番号	件 名	議決結果	提出者
意見書案第1号	前期高齢者財政調整制度等の見直しを求める意見書	原案可決	渡久地政作議員 亀島賢二郎議員
意見書案第2号	鳩山政権に公約の遵守と普天間飛行場の県内移設の断念を求める意見書	〃	玉城彰議員、屋良栄作議員 糸数昌洋議員、古堅茂治議員 平良誠子議員、久高友弘議員
意見書案第3号	子ども手当の全額国庫負担を求める意見書	〃	高良正幸議員 比嘉瑞巳議員
意見書案第4号	教職員定数法改正による「30人以下学級実現」のための意見書	〃	高良正幸議員 比嘉瑞巳議員
意見書案第5号	「協同出資・協同経営で働く協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書	〃	桑江豊議員 山城誠司議員
意見書案第6号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	〃	高良正幸議員 比嘉瑞巳議員



転落事故現場を調査

去る1月25日に建設常任委員会（與儀實司委員長）は、1月16日に壺川東市営住宅で発生した高校生転落死亡事故について、当局から説明を受けた後、現場調査を行いました。

事故現場の9階では、廊下から屋上へ移動可能な開口部については、侵入防止の格子が設置されていることを確認し、今回事故のあった廊下の手すり部分に乗っての屋上等への移動は大変危険であることを確認しました。

事故現場の9階では、廊下から屋上へ移動可能な開口部については、侵入防止の格子が設置されていることを確認し、今回事故のあった廊下の手すり部分に乗っての屋上等への移動は大変危険であることを確認しました。



中学生が議会に初の陳情

去る二月十九日に松城中学校三年生代表の生徒達が本市議会を訪れ、議長に対して学校周辺の路線バスの増便やモノレールの利用に関する陳情を行いました。

松城中学校では総合的な学習の一環で、松川や首里金城町周辺地域の住民の生活の利便性の向上を図るために、モノレール駅と地域を行な等を提案した調査報告書をまとめ、議会にてモノレール駅と地域を結ぶシャトルバスの運行等を要請したものでした。この陳情は、三月十六日の最終本会議で採択されました。